

六甲道駅北地区が「全建賞」を受賞

震災復興土地区画整理事業の六甲道駅北地区が、平成18年度の全日本建設技術協会の「全建賞」を受賞しました。事業を契機に始まった地元まちづくり協議会による地域コミュニティの再生をめざした自主的な管理運営が評価されて、全国の公共事業の中から選ばれました。

六甲道駅北地区はJR六甲道駅のすぐ北側の古い木造住宅や商店街が密集する地域でした。

平成7年1月の阪神・淡路大震災と直後の火災によって地区内の56%の建物が全壊全焼し、60余命の尊い命が失われましたが、12年の歳月を経て、土地区画整理事業を中心とする市民と行政による「協働のまちづくり」によって見事に復興をとげつつあります。



当地区は8ヶ町丁にまたがっており、合意形成にあたっては各まちづくり協議会が住民の声を拾いあげ、派遣されたコンサルタントグループが行政との橋渡しをしてきました。

8つの協議会とこれをまとめる連合協議会による真剣な議論と意見の集約を経て、平成8年に「第1次まちづくり提案」が市長に提出されました。神戸市はこれを尊重し、実現すべく区画整理事業を進めました。そして各種制度と組み合わせることで、

- ・電線の地中化やまちに潤いを与える「せせらぎ」
 - ・防災機能をあわせ持つ近隣公園(8,000㎡)
 - ・復興基金を活用した集会所(「風の家」)等
- これまでの区画整理事業にはなかった施設をワークショップなど住民との協働作業によって実現しました。



地域集会所「風の家」

まちづくりは平成18年3月の換地処分によって基盤整備を終えました。現在、地域では事業中につちかった人材を生かし、せせらぎ、公園、集会所など身近な施設の管理運営を住民自らで行い、自主イベント、清掃、ホームページなどとおしてコミュニティの再生と発展に向けた取り組みを行なっています。

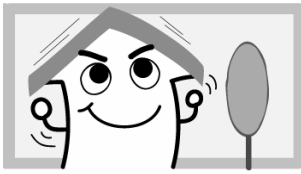
(都市計画総局地域調整課)



せせらぎの掃除



ときめきまつり(自主イベント)



地震に自信がありますか？強いすまいが、命をまもります。 9月・10月は、「神戸市すまいの耐震キャンペーン」期間です！

近い将来発生すると予測されている東南海・南海地震などに備えるために、9・10月を「神戸市すまいの耐震キャンペーン」期間とし、神戸市内各所で、市民団体や専門家団体などによる「すまいの耐震化」に関する様々な行事が開催されています。

地震から、家族や財産を守る情報が満載ですので、皆様ぜひご参加ください。

日時	内容	申込・問合せ先	場所
10月20日(土) 13:30~16:50	「分譲マンション耐震化マニュアル講習会」 市民・専門家向け 《申込要・無料》	神戸市すまいの安心支援センター Tel. 222-0186	ミント神戸
10月27日(土) 10:00~16:00	街頭住宅修繕相談会《申込不要・無料》	兵庫県建設労働組合連合会 Tel. 575-7662	JR・山陽垂水駅前 レバンテ番館
10月30日(火) 13:30~16:50	「伝統構法の木造耐震診断・改修に関する講習会」、専門家向け 《申込要・有料》	神戸市すまいの安心支援センター Tel. 222-0186	ミント神戸
11月11日(日) 11:00~17:00	みんなで学ぼう「都市の安全」(仮称)(救急蘇生法、耐震診断などの講演会、災害救命救助活動などの実演・体験コーナーなど)《申込不要・無料》	神戸大学都市安全研究センター Tel. 803-6437	ハーバーランド スペースシアター

「すまいの耐震化」って、何をすればいいの？

●「身近にできる耐震化」すまい方を工夫しよう

地震時に家具などが転倒したらどうなるか考えたことがありますか？

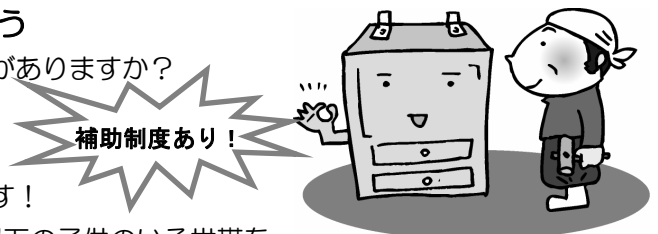
寝ているときに家具が倒れてきたら・・・

倒れた家具でドアが開かなくなったら・・・

家具の配置を考えたり、家具を固定することが大切です！

神戸市では、満65歳以上の方・障害者の方・小学生以下の子供のいる世帯を対象に、専門家による家具固定費用に対する補助制度を設けています。

専門家の紹介も行っています。



●「家の健康診断」耐震診断を受けよう

地震時に自分の家は大丈夫かしら・・・

神戸市では、昭和56年以前に建てられた住宅を対象に、無料で耐震診断を行っています。家の耐震性を確認しましょう！



●「すまいを丈夫に」耐震改修のすすめ

耐震改修工事をするにより、家の耐震性を向上させることができます。

リフォームと合わせて工事をする、工事費の節約にもなります。

神戸市では、耐震改修工事に対する補助制度を設けています。



「すまいの耐震化」に関する相談・補助金などのお問い合わせやお申込は
神戸市すまいの安心支援センター（すまいるネット）までお気軽にご連絡ください！
TEL 078-222-0186（土・日・祝日も営業しています【水曜定休】）

「山麓リボンの道」を行くーその1：須磨のみち

森崎輝行
(いきいき下町協議会)

皆さんは、「山麓リボンの道」について、どの程度ご存じですか？そもそも、その言葉を聞いたことやその道標をみたことがありますか？

まず最初に、この道について、『神戸市H11.7発行「山麓リボンの道」』を参考にご紹介をしておきます。神戸は海と山に挟まれた部分に発展した「まち」ですが、その六甲山の山麓や海沿いに自然の地形を活かし、それぞれの時代を今に伝えるさまざまな「まち」が点在し、「まち」は育まれてきました。その「まち」をリボンで結ぶように散歩道で繋いだのが「山麓リボンの道」です。道の道標や案内板は昭和54年から設置されていますが、散歩道そのものの整備は平成4年から進められています。全長約45Kmの散歩道は12の区間に分かれています。神戸市の東から順に、①本山のみち ②六甲のやますそ ③摩耶山のふもと ④布引のみち ⑤北野・諏訪山のみち ⑥烏原へのみち ⑦高取山のふもと ⑧須磨のみち ⑨いそかぜのみち ⑩坂道と海 ⑪平磯の波面 ⑫あわじのしまかげ などです。六甲山の麓を縦断しているのので

離宮公園にあった四阿
(現在は支柱のみ残っている)



と一度は、その道標を見たことがあるはずですが、しかし、区間内にある道標の頭部のデザインは区間ごとに違っていています。お気づきでしたか？

上記の発行物によると、これらの道標は、ルートを散策するみちしるべとして又、まちの資源へのみちしるべとしての役割も担っているようです。

では、早速、今回の「山麓リボンの道」を散策しましょう。今回ご紹介するのは、今年度まち歩き実践ゼミの第3回目(筆者が担当することになっている)に予定されている「区間⑧」の「須磨のみち」です。「須磨」は、「須磨の歴史散歩(田辺真人著・須磨区役所発行)」のあとがきにもあるように「神戸の」とつけなくても全国で理解される六甲山・有馬温泉・灘・兵庫と並ぶ有名な地名の一つです。そのイメージは白砂青松。万葉からの歴史と文学に始まり、平家物語、太平記や信長公記などの中世武士の活躍の場、近世においての芭蕉、蕪村が訪れた地でもある一方で、塩焼きする漁師、台地での農夫、内陸の山人の生活もあったようです。

区間⑦の高取山から西へ進む「山麓リボンの道」は学校が続きます。まず、板宿小学校。(この「板宿

という地名の謂れは、菅原道真が太宰府に左遷される途中、この地に立ち寄った時、里人が急なことで板囲いの宿をしつらえ、休ませたとのことから。など諸説ある。)

そして、野球オールドファンでお馴染みの巨人・別所を輩出した滝川中学(兵庫県武庫郡須磨町から神戸市に須磨区として編入された大正9年に新校舎を宝田町に新築)。団塊の世代が通っていた頃、東洋一の生徒数といわれていた飛松中学。この「飛び松」についてのエピソードをご紹介します。「須磨の歴史散歩」では、道真が左遷される時、『自邸の庭に大変大事にしていた立派な梅、桜、松の内、桜はショックで枯れはて、梅は香りを旅する一行に絶えずとどけたとのことです。ところが、松だけは知らん顔。板宿についた道真は、ため息まじりにつぶやきました。「松とはなんと情け知らずの木なのだろう」と。これを伝え聞いた邸の松は、驚き恥じて、一心に空を飛び、京から飛来した。』ということです。さらにリボンの道を西進すると、大手公園を経て須磨高校にでます。現在、新長田再開発地区ではまちづくりの起爆剤としてのキャラクターともいえる「鉄人28号」の作者、故横山光輝氏の通った高校です。その隣接地がテレビドラマ「華麗なる一族」で有名になった旧岡崎邸のある離宮公園植物園です。

天井川を渡り、須磨離宮公園。正門前の旧室谷邸跡の東に小径(東須磨と西須磨の境)がある。地元で郷土史の研究をしておられる友国さんのレポートによると在原行



平の時代、この付近はこの道しか存在しなかったと記述しておられます。その道を下ると月見山の駅のプラットホームの下をくぐり、水族園に至ります。この道のことを「潮汲みのみち」と呼び、松風村雨が多井畑から通った道だったとのことです。いよいよ、このコースのハイライト、武庫離宮跡(離宮公園)です。須磨神戸市編入50周年記念誌『須磨』によると、西本願寺の大谷光瑞の別荘だったのを明治天皇が風光を賞され、明治41年(1908年)お買上げになりました。戦前、一般の人は立入を禁止されていました。この宮跡の高台は、東須磨と西須磨の境にあたる景勝で月見山と呼ばれていました。この高台に「行平の松」があったといわれています。しかし、そこからの月見をきっと楽しみにされていたに違いない明治天皇は武庫離宮(明治45年起工、大正3年竣工)の完成を見ず崩御されてしまいました。明治天皇が訪れることはなかったのですが、大

正天皇3度、昭和天皇1度、今上天皇も皇太子の時、美智子妃殿下とともに、フランス式宮廷公園の武庫離宮跡を訪ねられ区民の大歓迎を受けられたとのこと。今年、戦災で焼失していた四阿（傘亭）を、来年の100周年に間に合わせるべく復元しようと地元まちづくりのメンバーが中心となって実行委員会が結成されました。今、かつての場所（月見台）にはその復元を誓った案内板が建っています。

～ KOBE の景観まちづくりニュース ～

都心部のウォーターフロントを都市景観形成地域に指定しました。
また、大規模な建築物等に対する景観誘導基準も設けました。

■都心ウォーターフロントの都市景観形成地域指定

神戸市では、景観をつくる上で特に重要な地域などを、都市景観条例にもとづく「都市景観形成地域等」に指定し、魅力ある景観づくりを進めています。

今回、みなと神戸の顔である都心ウォーターフロントにおいて、「ハーバーランド」、「波止場町・メリケンパーク」、「新港突堤西」、「震災復興記念公園周辺」、「HAT神戸」、「ポートアイランド西」の6地域を、都市景観形成地域に指定し、それぞれ景観形成の方針と基準を定めました。

今後は、既存の景観資源をまもりながら、地域の取り組みを踏まえ、協働による神戸らしい景観まちづくりを進めていきます。

■大規模建築物等に係る景観形成指定建築物等誘導基準の策定

また、都市景観形成地域などを除く市内全域で、一定規模以上の建築物、屋外広告物等について届出を求め、景観形成について、窓口で必要な助言や指導を行っています。

このたび、この届出にあたり、建築物の配置や形態、材料・色彩などについて、都市景観条例にもとづく誘導基準を策定しました。特に、建物の屋根や外壁の色彩について、「けばけばしくならないようにする」とし、明度や彩度などの数値基準を設けました。

また、植栽については、主な河川に面する場合、敷地緑化に努めるべきこととしました。

今後は、この誘導基準について、市民・事業者の方々に十分理解いただくことで、より良い景観形成を目指していきます。
(都市計画総局地域支援室)

まちづくり会館展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

期 間	内 容 ・ テーマ	主 催 者
9月 2日(日) ～ 30日(日)	神戸の文脈 都市の文脈	『震災10年後、灘・東灘の景』討論実行委員会
10月 1日(金) ～ 30日(火)	防犯パネル展(前半) 「東南海・南海地震に備えて」パネル展(後半)	神戸市危機管理室

地階ギャラリーの予定

期 間	内 容 ・ テーマ	主 催 者
9月 20日(木) ～ 25日(火)	麓和会 洋画作品展《油彩》	麓和会
9月 27日(木)～10月2日(火)	兵庫倶楽部写真友会 写真展	兵庫倶楽部写真友会
10月 5日(金) ～ 9日(火)	第25回木製帆船模型作品展	神戸帆船模型の会
10月 11日(木) ～ 16日(火)	葦の会展《油彩》	葦の会
10月 19日(金) ～ 23日(火)	ワールドプレイワ-協会兵庫支部展《押花》	ワールドプレイワ-協会兵庫支部

展示時間：午前10時～午後6時（水曜日休館） ※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。



最寄駅

地下鉄海岸線 みなと元町駅西口から1分
高速 花隈駅東口から3分 西元町東口から5分
JR・阪神 元町駅西口から8分

こうべまちづくり会館

〒650-0022

神戸市中央区元町通4丁目2番14号

開館時間：午前10時～午後6時（水曜日休館）

電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

コミュニティ相談センター（まちづくり会館4F）

自治会の運営等の相談、会報等の印刷サービス

電話・FAX 078-361-4565

受付：午前10時～午後6時（水曜日休館）

ただし印刷は、5時まで